



大阪港湾局における脱炭素化の取組について

【大阪“みなと”カーボンニュートラルポート形成事業】

令和8年1月27日

大阪港湾局

Ports of OSAKA for “2050 CNP”

1. 大阪“みなと”（大阪港・堺泉北港・阪南港）としてめざす姿

（目標）

〔2050年：長期〕

大阪“みなと”の**CNP形成**を通じ ——

- ・大阪府・市の上位計画（地球温暖化対策実行計画）にて掲げる
「脱炭素社会・大阪」や「ゼロカーボンおおさか」の実現に貢献

〔2030年度：中期〕

CO2排出量**46%削減**（2013年度比）

+

〔世界の企業がサプライチェーンの脱炭素化に取り組む中〕

荷主や船会社等から大阪“みなと” が **“選ばれ続ける港”** であるため



推進計画に基づき、**民間企業**等と連携し、**脱炭素化を推進**

2-1. これまでの取組 — 大阪港湾局自身の削減の取組 —

- 道路照明・上屋・事務所等の照明のLED化、空調設備、直営船の更新
- ブルーカーボンの造成・維持保全 など



※大阪市HPより



※大阪港湾局撮影



※大阪港湾局撮影

➤ 自身の排出量を着実に削減（現況の削減率：約36%）

		2013年度 (基準)	2025年度 (現況)	2030年度 (目標)	ギャップ
ターミナル内	公共上屋	6 [千t]	5 [千t]	4 [千t]	1 [千t]
ターミナル外	道路照明	2 [千t]	1 [千t]	1 [千t]	0 [千t]
	事務所	37 [千t]	23 [千t]	20 [千t]	3 [千t]
計		45 [千t]	29 [千t]	25 [千t]	4 [千t]

2-2. これまでの取組 — ターミナル内における削減の取組 —

【大阪“みなと”コンテナターミナルにおける取組（例）】

阪神国際港湾(株)・大阪港埠頭(株)・
国・港湾管理者による実施

【照明のLED化】



(R8.1時点の進捗)

・全体で**約70%**導入済

R9.3に100%完了予定

大阪港湾局として
一部支援【補助】

阪神国際港湾(株)・
ターミナルオペレーターによる実施

【回生機能付きGCの導入】



(R8.1時点の進捗)

・全体で**約90%**導入済

R10.3に100%完了予定

港運事業者・ターミナルオペレーター・
船会社による実施

【低炭素型RTGの導入】



※：HV型RTGの値

(R8.1時点の進捗)

・全体で**約60%**導入済

R9.3に約90%まで切替予定

大阪港湾局として
一部支援【補助】

➤ 次年度より、新たな取組（他の港湾荷役機械の低炭素化など）※も実施予定

※R8.1時点でR8d予算要求中

【CNP認証取得】

- 令和7年6月より開始した「**CNP認証（コンテナターミナル）**」制度において
これまでの官民連携した取組が評価され、近畿圏で初の認証を取得

対象 ターミナル	認証 取得日	認証レベル	各レベル取得要件	ターミナルの 取組状況	被認証者
咲洲コンテナ ターミナル C1～C4	R7.9.25	レベル2 +	・港湾脱炭素化推進計画の作成	○	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社辰巳商会 ・株式会社商船三井 ・大阪市 ・阪神国際港湾株式会社
			・インバータ制御方式のガントリークレーンの導入	<u>導入率88%</u>	
			・低・脱炭素型トランスファークレーン・ ストラドルキャリアの導入	<u>導入率74%</u>	
			・LED照明の導入	<u>導入率48%</u>	
夢洲コンテナ ターミナル C10～C12	R7.11.5	レベル2 ++	・港湾脱炭素化推進計画の作成	○	<ul style="list-style-type: none"> ・夢洲コンテナターミナル株式会社 ・エバーグリーンマリンコーポレーション（台湾）リミテッド ・大阪港埠頭株式会社 ・大阪市 ・阪神国際港湾株式会社
			・インバータ制御方式のガントリークレーンの導入	導入率100%	
			・低・脱炭素型トランスファークレーン・ ストラドルキャリアの導入	<u>導入率31%</u>	
			・LED照明の導入	導入率100%	



- 現在、実施中の【**照明のLED化**】、【**低炭素型RTGの導入**】等により
上位レベルの要件を満たす見込

【ブルーカーボンのクレジットの取得・公募等】

- 令和7年3月、**大阪南港野鳥園**において、かねてから実施している**干潟・湿地**の環境保全の取組が評価され、**大阪市で初**となる**“Jブルークレジット（46.7t-CO₂）”**を取得



【第1回 クレジット購入申込者公募結果(R7.3～R7.5)】

購入企業 (五十音順)	・大阪港埠頭株式会社
	・株式会社住友倉庫
	・株式会社辰巳商会
	・東洋建設株式会社
	・夢洲コンテナターミナル株式会社
購入口数	・5社合計:18口
譲渡クレジット数量	・CO ₂ 吸収量:23.4t-CO ₂
購入金額	・5社合計:990,000円(税込)

⇒ 現在、第2回公募（23.3t-CO₂）を
R7.12.16よりJBEのHPにて実施中

【イベント出展・記事掲載等によるPR活動】

・ イベントへの出展

R7.11、インテックス大阪にて開催された
「スマートエネルギーWEEK※」に出展

※公式発表より、3日間の合計**約11,500名**が来場



※大阪港湾局撮影



※出展時のポスター等掲示イメージ

- 本イベントへの出展を通じて、
**大阪“みなと”におけるCNPの推進や、
皆様の取組（一部）を広くPR**

・ エコチル新聞の発刊

大阪市内の小学生向けの「エコチル新聞※」
11月号にて、港湾とCNPの記事を掲載

※「子ども環境情報紙 エコチル」のことで、大阪市内では8月を
除く毎月**115,029部**が発行され、**290校**の小学生に配布



出典：子ども環境教育情報紙 エコチル

- **次世代を担う子供たちに、生活における
港湾の役割や重要性を紹介し、
カーボンニュートラルポート（CNP）
実現に向けた取組とその必要性をPR**